

PRESS RELEASE



プレスリリース No.1

2013 年 9 月 26 日

世界 18ヶ国からのメッセージ入り巨大“大漁旗”を掲げ、 10/9(水)、「ピースボート地球一周の船旅」が石巻に初寄港します！

来る 10 月 9 日、「ピースボート 地球一周の船旅」(使用客船:オーシャンドリーム号)は、東日本大震災からの復興支援のため、宮城県石巻港に初寄港します。入港時には、世界各国で集めた“夢”と“復興”へのメッセージが書かれた巨大な“大漁旗”を掲げるほか、震災後はじめて外国客船を受け入れる石巻港大型客船誘致協議会側からも歓迎セレモニーや打ち上げ花火などのイベントが開催される予定です。

石巻港に寄港する「第 80 回ピースボート 地球一周の船旅」は、国際 NGO ピースボートの 30 周年記念クルーズで、7 月 18 日に横浜港を出航。石巻市や女川町で被災経験を持つ“石巻ユースアンバサダー”や福島の大学生、広島・長崎のヒバクシャらも乗船しており、石巻市と姉妹都市のイタリア・チビタベッキア市での証言会など各国で様々なプロジェクトを行ってきました。石巻港寄港は、世界 18 カ国 20 寄港地を巡る旅の集大成でもあり、約 800 名の参加者は、地元の方々との交流や被災現場の検証、復興商店街への訪問など、複数のツアーに分かれて行動します。

ピースボートは、震災以降これまでに延べ 8 万人(派遣人数:1 万 4 千人以上)を越えるボランティアとともに石巻への災害支援活動を行ってきました。今回の石巻寄港には、たくさんの地元の団体・個人の皆様にもご協力をいただき、東北被災地への関心の風化が叫ばれるなか、地場産業への経済効果も含めた大きな復興への後押しになればと考えています。報道関係者の皆様にも、ぜひ事前告知や当日の取材などでご協力いただければ幸いです。

■ 石巻港入港スケジュール

- 【日 時】 2013 年 10 月 9 日(水) 着岸予定時刻:7 時 30 分 出港予定時刻:17 時 00 分
- 【場 所】 石巻港中島埠頭
- 【イベント】 [入港セレモニー] 大漁旗によるお出迎え、歓迎挨拶、記念品贈呈、伊達武将隊演舞など
[陸上イベント] 石巻市、東松島市、女川町、松島町の観光 PR、海産物炭火焼など
[出港セレモニー] 太鼓・踊りなど各市町の伝統芸能、打ち上げ花火など
※雨天時は、一部変更となる場合があります。
- 【出席者】 石巻市長、女川町長、東松島市長、松島町長、宮城県知事(代理)
ピースボートクルーズディレクター、オーシャンドリーム号船長、石巻ユースアンバサダーほか
- 【協 力】 石巻港大型客船誘致協議会(石巻市、女川町、東松島市、松島町)

■ 「第 80 回ピースボート 地球一周の船旅」(使用客船:オーシャンドリーム号) 概要

- 【日 程】 2013 年 7 月 18 日～10 月 10 日[85 日間・横浜発着]
- 【寄港地】 18 カ国 20 寄港地 [ベトナム/インド/ギリシャ/
イタリア/フランス/スペイン/ジャマイカ/メキシコなど]
- 【乗船者】 全国から約 800 名(海外参加者含む)
- 【使用客船】 オーシャンドリーム号(総トン数 35,265 トン)
- 【主 催】 [コーディネート] 国際 NGO ピースボート
[旅行企画・実施] 株式会社ジャパングレイス

※船内の取材をご希望の場合は、10 月 2 日(水)までにご連絡ください。
 ※オーシャンドリーム号の船体写真の提供も可能です。
 ※10 月 10 日、横浜港では帰航記者会見を行います。



● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボート災害ボランティアセンター

TEL. 03-3363-7967 MAIL. kyuken@pbv.or.jp

■ 入港時、船体に掲げられる巨大な“大漁旗”について

三陸沖の漁業は東日本大震災で大きな被害を受け、いまだに震災前の漁獲量までの回復はしていません。ピースボートでは、2011年から石巻市内や雄勝町、牡鹿半島などの浜で漁業支援ボランティアを続けてきました。今回の石巻入港時、ピースボート船体に漁業再生や復興を願う大きな大漁旗(サイズ: 10m×6m)を掲げて船が入ります。この旗には「石巻ユースアンバサダー」(後述)や石巻での漁業支援ボランティアの経験を持つピースボート乗船者の若者たちが、各国で集めた“夢”と“復興”への言葉を散りばめたデザインが施されています。また、地元の方々もカラフルな大漁旗を持って、船を出迎えてくださる予定です。

■ 「石巻ユースアンバサダー」について

震災から3年目を迎え、記憶の風化も叫ばれるなか、石巻圏域の未来を担う若者を「ピースボート地球一周の船旅」に招待。公募から選ばれた2名の若者が世界各地を巡り、東日本大震災の経験や教訓を語り継ぎ、地元の復興に役立つ学びを持ち帰ることが目的。石巻から世界を切り開いたとされる、支倉常長ら慶長遣欧使節船の出帆400周年を記念したプロジェクトでもあり、その関連から石巻市の姉妹都市イタリア・チビタベッキア市での証言会や、「サムライの子孫」という意味の「ハポン」姓を持つコリア・デル・リオ(スペイン)での交流などを実施した。

(後援: 石巻市、石巻市教育委員会、石巻専修大学、公益財団法人慶弔遣欧使節船協会)

○ 崎村周平さん (女川町出身、30歳)

東日本大震災では、石巻市南浜にある当時の職場で被災。自身は避難し難を逃れるが、当時大学生だった弟と祖母を津波で失った。被災後、友人と物資の配達や炊き出し等も行い、現在は「Graffiti Writer D-BONS」のデザイナーとして活動中。世界一周で訪れた各国では、被災体験の証言に加え、洋上で描いた“大漁旗”の寄贈を行い、今回の石巻寄港時に掲げる巨大大漁旗デザインにも中心的に関わった。

○ 高橋さやかさん (石巻市出身、28歳)

東日本大震災では、石巻市三河町の職場で被災。職場のビルから波に飲まれる町を目の当たりにする。その体験から得た「財産よりも命が大事」という教訓をベトナム、イタリア、ジャマイカ、メキシコなど各国で伝えた。地元では、震災後に立ち上げた劇団「夢まき座」の団員でもあり、2014年秋に向けては、慶長遣欧使節船「サンファンパウティスタ号」にまつわる演劇を予定しており、台本の執筆も担当している。

※入港当日の2名の行動については、お問い合わせください。

■ 寄港時に実施されるツアー一覧

- | | |
|------|--|
| Aコース | 石巻の方たちと出逢う街歩きと震災語り部 (石巻市内、参加約80名) |
| Bコース | プチボランティア作業と震災語り部 (石巻市内、参加約40名) |
| Cコース | 石ノ森萬画館復興の歩みと震災語り部 (石巻市内、参加約40名) |
| Dコース | 復興まっただ中の街・女川町を訪問 (女川町、参加約40名) |
| Eコース | 石巻の漁村で漁業体験 (牡鹿半島、参加約25名) |
| Fコース | 支倉常長ゆかりの地巡りと被災地視察 (牡鹿半島、参加約40名) |
| Gコース | 親子で半日ボランティア作業体験 (石巻市内、参加約25名) |
| Hコース | 被災地石巻を巡る (石巻市内、参加約80名) |
| Iコース | LINKSプロジェクト(漁業支援ボランティア)・BBQランチ (牡鹿半島、参加約25名) |
| Jコース | 日本三景・松島1日観光 (松島町、参加約80名) |

【ツアー実施協力】石巻観光ボランティア協会、女川町商工会、(株)街づくりまんぼう、(社)みらいサポート石巻、(社)ISHINOMAKI2.0、(有)三陸旅行サービス

※()内は、主な行動場所、ツアー定員(募集人数)です。